

めぐみイエス・キリスト教会

2018年7月22日(日) 第四主日礼拝
週報「通算第415号」



2018年標題聖句

使徒の働き27章22節～26節

27:22 「しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、いのちを失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。

27:23 昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、

27:24 こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

27:25 ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。

27:26 私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。」

主日礼拝毎週日曜日 午前10時～11時

聖書研究・祈祷会 毎週水曜日 午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2018年7月22日(第四主日礼拝)午前10時～11時

司会 鈴木 竜実 牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏始祈】

【賛美Ⅰ】 新聖歌258「墨よりも黒き心なれど」 p. 402

【交読文】 No.6 詩篇第22篇 p. 883

【賛美Ⅱ】 新聖歌343「罪に満てる世界」 p. 546

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.7 「私の十字架」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書14章28節～31節(新約p. 192下段)

【祈 禱】

【説 教】 《この世を支配する者》 鈴木 竜実 牧師

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌198「God Bless You」 p. 294

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝禱後奏】

●ポイント1 現代訳(尾山令仁師)における同一箇所から

※ヨハネの福音書14章28節～31節

14:28 『私はこの世を去ってから、また、あなたがたの所に帰って来る。』と話しましたが、もしあなたがたが私を本当に愛しているなら、私が天のお父様のみもとに行くのを喜ぶはずです。天のお父様こそ、何ものにも勝る偉大なお方だからです。

14:29 私はそのことが起こる前に、あなたがたに話しました。そのことが起こった時に、あなたがたが私を信じるためです。

14:30 私はもう、余り多くのことを言うことができません。この世の支配者

である悪魔が私を捕らえようとして来るからです。しかし、悪魔は私に対して何もすることができません。何の力もありません。

14:31 しかし、天のお父様が私に命じておられる通りのことを、私は行ないます。それは私が天のお父様を愛していることを、この世が知るためです。立ち上がりましょう。さあ、ここから出て行くのです。

●ポイント2 「この世を支配する者」とは？

※ルカの福音書4章5節～7節「荒野における悪魔の誘惑」(新約p.104)

また、悪魔はイエスを連れて行き、またたくまに世界の国々を全部見せて、こう言った。

「この、国々のいっさいの権力と栄光とをあなたに差し上げましょう。それは私に任されているので、私がこれと思う人に差し上げるのです。ですから、もしあなたが私を拝むなら、すべてをあなたのものとしましょう。」

※ヨハネの福音書13章21節～30節「最後の晚餐にて」(新約p.190上段)

●ポイント3 新約時代における、今の私たちとは？

※コロサイ人への手紙2章12節～15節「使徒パウロの理解」(新約p.359)

2:12 あなたがたは、バプテスマによってキリストとともに葬られ、また、キリストを死者の中からよみがえらせた神の力を信じる信仰によって、キリストとともによみがえらされたのです。

2:13 あなたがたは罪によって、また肉の割礼がなくて死んだ者であったのに、神は、そのようなあなたがたを、キリストとともに生かしてくださいました。それは、私たちのすべての罪を赦し、

2:14 いろいろな定めのために私たちに不利な、いや、私たちを責め立てている債務証書が無効にされたからです。神はこの証書を取りのけ、十字架に釘づけにされました。

2:15 神は、キリストにおいて、すべての支配と権威の武装を解除してさらしものとし、彼らを捕虜として凱旋の行列に加えられました。

※エペソ人への手紙1章18節～19節「聖徒の受け継ぐもの」(新約p.342)

◎先週のメッセージの概要【本当の平安とは？】

《さて、主イエス様は弟子たちに、「私は、あなたがたに平安を残します。」と言われました。ここで「平安」と言う言葉のギリシャ語は、「シャローム」と言う言葉です。この言葉には、深い意味が含まれています。つまり、健康、繁栄、完成、安全、和解などを含んでいるのです。「平安」の反対語は、「思い患い」であり「恐れ」です。そしてそれは人の心を騒がせることになるのです。

十一使徒に、これからそのような大きな出来事が起こることを、イエス様はご存知でした。しかし彼らは、真に理解することは出来なかったのです。

その彼らに、「私は、あなたがたに平安を残します。」と約束されたのです。それは、少し前に、「私は、あなたがたを捨てて孤児にはしません。私は、あなたがたのところに戻って来るのです。」と言う約束の言葉なのです。

主イエス様は神様です。神様は、約束されたこと、誓われたことを必ず守って下さいます。私たちは、そのようなお方を信じ、信頼しているのです。

次にイエス様は、「私は、あなたがたに私の平安を与えます。」と約束されました。これは預言です。この約束を手にする為には、イエス様の十字架と三日間の暗闇を経験しなければならないこととなります。そして、イエス様がよみがえられ、弟子たちにその姿を現わされた時に成就するのです。

復活されたイエス様は、弟子たちにこのように約束されました。「私には天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。見よ。私は、世の終わりまで、いつも、あなたがたと共にいます。」と。

私たちは愛されています。イエス様は、真に愛して下さいておられます。本当の平安は、主の約束された言葉によって、主が共にいて下さることによって、そして主が愛して下さいることによって、すでに与えられているのです。

だからこそ、主イエス様は言われます。「あなたがたは心を騒がしてはなりません。恐れてはなりません。」と。思い患うことも、恐れることも、それは、ただ不信仰の何ものでもないのです。》

◎お知らせ

1. 次回第5主日礼拝は、7月29日(日)午前10時からです。祈祷会は7月25日(水)午後6時15分です。先になります。8月22日(水)はお休みとなります。
2. 鈴木師は、7月26日(木)TPCお昼の礼拝でメッセージと奏楽を担当します。
3. 8月から、毎週日曜日の礼拝を、二回行ないます。午後は6時からです。